

活き活きと輝き、誇れるまちの情報誌「広報ゆのまえ」

ゆのまえ 7

2015
No.409

フトリポート

八勝寺阿彌陀堂、落成

クローズ・アップ

西村選手、県高校柔道90^キ級初V

広報



ゆのまえ

夏がきたよ。



CONTENTS 目次

2 Pick Up Topics
湯前小どろんこ遊び

3 春季球技大会
4-5 フォトリポート
八勝寺落成式・記念講演

6 人吉球磨夏期陸上大会結果

7 認知症予防プログラム
タブレット体験

8-9 西村選手、県高校柔道90kg級初V

10-11
・花いっぱい交流
・ゲートボール女子郡体V2
・湯前町防災会議
・湯前小童話発表大会
・西米良中交歓会
・民生児童委員研修会

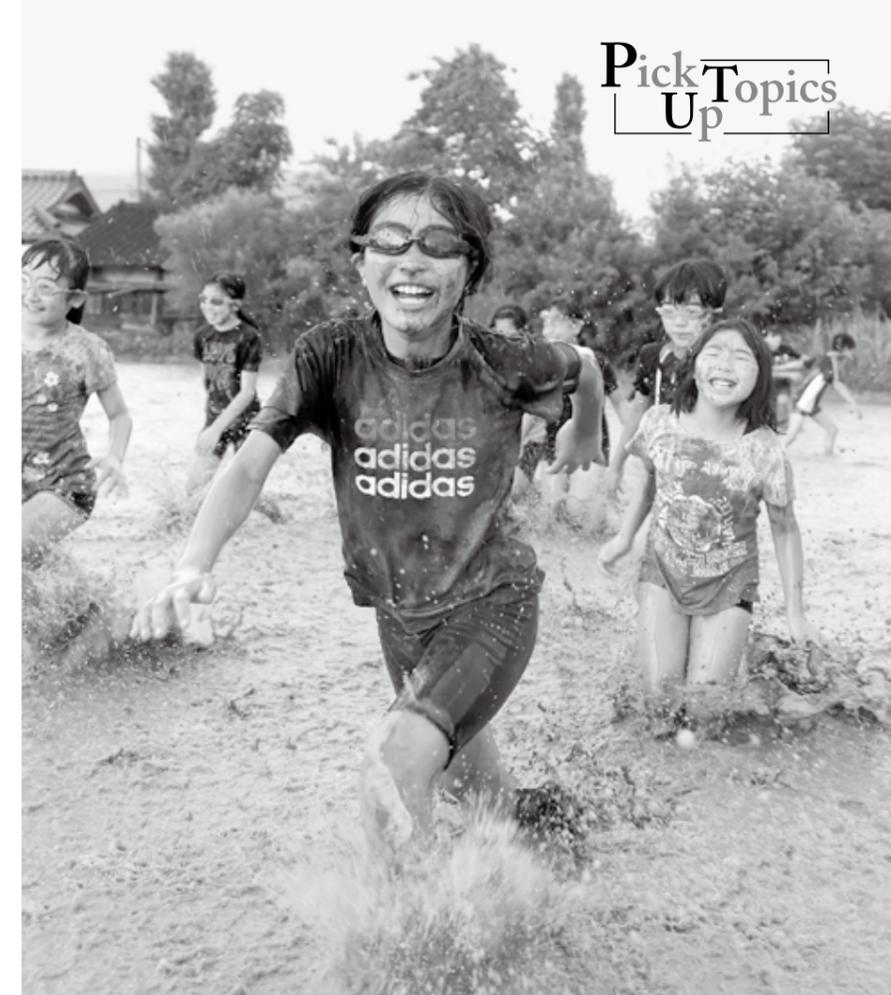
12 マイナンバー制度が始まります

13 青年団だより

14 新刊が入りました、ごみ情報

15 保健師だより、戸籍の窓

16 地域の文化財を活用したふるさと学習会
編集あとがき



水田の中を駆け回る児童たち

自然の遊び場に響く元気な声
湯前小5年生どろんこ遊び

湯前小学校5年生のイモ植えとどろんこ遊びが6月19日、同校グラウンド近くの水田と畑であり、児童34人が全身泥まみれになって楽しく遊んでいました。

取り組みは児童に自然の遊び場で楽しく遊んでほしいと、球磨地域農業協同組合（JA）青壮年部が協力して毎年開かれています。同青壮年部の那須孝臣さんがサツマイモの植え方を説明したあと、児童は300本の苗を土の中にしっかりと植えていきました。

水田でのどろんこ遊びでは、児童が水田に足をつけた瞬間、悲鳴にも似たはしゃぎ声が響き渡りました。児

童は水田の端から端まで元気に駆け抜けたり、浸かっていたりしていました。元気よく遊んでいる児童たちにとっては降り出した雨も泥の汚れもおかまひなし。最後には着ていた服だけでなく、顔や髪まで泥だらけでしたが、みんなが笑顔でした。どろんこ遊びを楽しんだあとに水田の中の石を拾っていた中村孔亮くん（上染田）は「田んぼの中にヘッドスライディングをするのが楽しかった」と話していました。

児童は29日に遊んだ水田で田植えを体験しました。10月には稲刈りも行われる予定です。

〈7月の表紙〉



梅雨もいよいよ終わりが見えてきました。写真は湯前小学校1・2年生のプール開き。プールに浸かり、楽しそうに話している二人の後ろ姿に「夏の訪れ」を感じました。

第50回 春季 球技大会

スポーツで 地区の交流深める



ナイスプレーに笑顔あふれる参加者

第50回湯前町春季球技大会は5月24日、町民グラウンドをはじめとする町内5会場開かれました。

バドミントン、ソフトボール、ミニバレー、グラウンドゴルフの4種目に選手583人が出場。好プレーが出るとチーム全員で喜び、参加者は楽しく交流を深めました。選手たちの頑張りにより観客からも大きな声援を送っていました。



ギリギリまで引きつけて思いっきり打つ



ホームランは全員でハイタッチ



チャンスにはスマッシュ



チームでつないだボールをアタック

※競技結果

〈バドミントン〉

- ※16地区・23チーム
- 1部 優勝 馬場B
2位 上里3A
3位 下城
" 野中田3B
 - 2部 優勝 田上A
2位 下染田A
3位 馬場A
" 瀬戸口

〈ミニバレー〉

- ※9地区・9チーム
- 1部 優勝 上村
2位 上里3
3位 馬場
" 古城
 - 2部 優勝 下村
2位 下染田
3位 下里
" 田上

〈ソフトボール〉

- ※12地区・12チーム
- 1部 優勝 下村
2位 馬場
3位 野中田3
" 上村
 - 2部 優勝 上里3
2位 瀬戸口
3位 田上
" 古城

〈グラウンドゴルフ〉

- 20地区・243人
- ※○内はホールインワン数
- 優勝 白石 鈴子(中里2) 26打(3回)
 - 2位 谷口 エミ子(上村) 28打(2回)
 - 3位 池田 虎鷹(下城) 33打(2回)
 - " 谷口 末人(野中田2) 33打(2回)
 - " 湯前 精一郎(瀬戸口) 33打(2回)

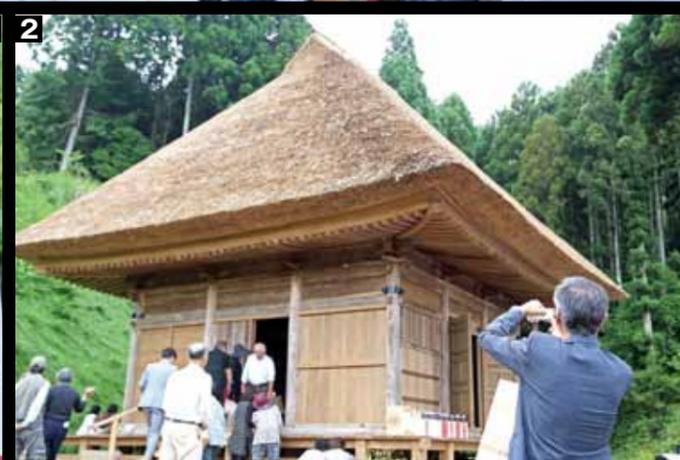


- 1 くまモンとゆっくんのもち投げ
- 2 堂内に入ったり、写真を撮ったりする人々
- 3 県指定文化財の木造阿弥陀如来
- 4 式典後にお参りをする人たち
- 5 式典の前に行われた法要
- 6 厨子(ずし)も見事な出来栄え

- 7 華麗に舞う若者のりりしい横顔
- 8 記念講演をした柴田山親方
- 9 文化財建造物保存技術協会の柴田邦宏さんが工事を説明
- 10 迫力満点の太鼓踊り
- 11 関係者らによるテープカット

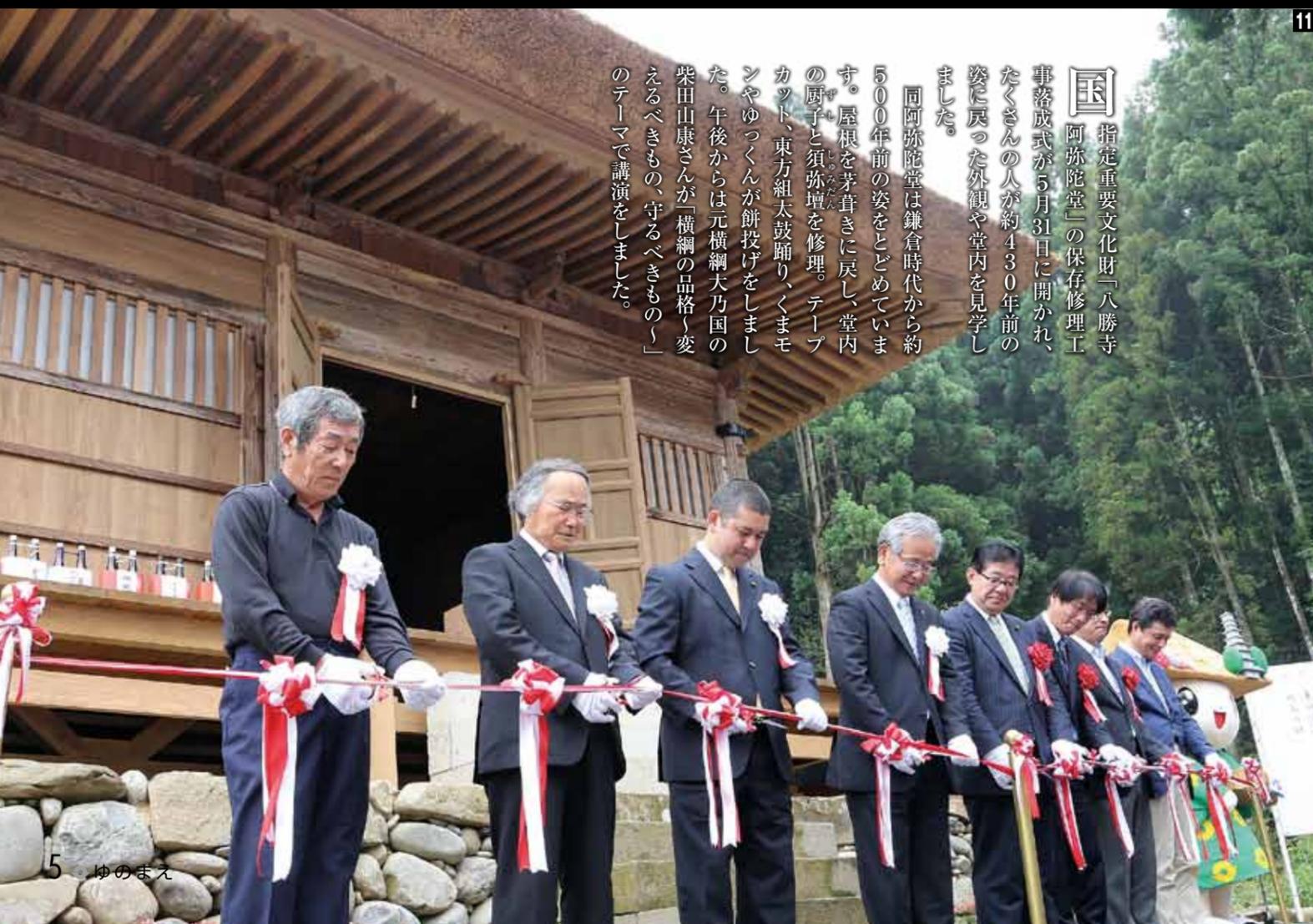
八勝寺阿弥陀堂、落成

はっしょうじあみだどうらくせい



国 指定重要文化財「八勝寺阿弥陀堂」の保存修理工事落成式が5月31日に開かれ、たくさんの人が約430年前の姿に戻った外観や堂内を見学しました。

同阿弥陀堂は鎌倉時代から約500年前の姿をとどめています。屋根を茅葺きに戻し、堂内の厨子と須弥壇を修理。テーブルカット、東方組太鼓踊り、くまモンやゆっくんが餅投げをしました。午後からは元横綱大乃国の柴田山康さんが「横綱の品格」変えるべきもの、守るべきもの」のテーマで講演をしました。



八勝寺の工事には昔から使われていた木材を再利用。柱には1705年に書かれたとされる目印が残っています。平成24年度から3年で工事が完了。厨子の作りや色彩から当時の技術の高さが分かります。

タブレット パソコンで 脳若

認知症予防プログラム・タブレット体験会



タブレットでの演奏方法を学ぶ参加者

認知症予防プログラム・タブレット体験会が6月15日、B&G海洋センターと辻公民分館であり、住民や福祉関係者ら約40人がタブレットパソコンを使ってゲームや合奏をしながら、楽しく認知症予防を体験しました。

取り組みはタブレットを使って楽しく認知症予防ができることを体験してほしいと町ICT(情報通信技術)活用推進協議会が主催。(株)アポロ福岡の堀あゆみ代表取締役が講師を務め、参加者はタブレットを使った介護予防プログラムの「みつおか式脳若トレーニング」を体験しました。堀さんは「脳を若返らせるポイントは新しいことに挑戦すること、人と会って話すこと、たくさん笑うことの三つ。今日はたくさん笑って過ごしてほしい」と参加者に話しました。

午前中、参加者はスクリーンに映された動物や果物の名前を記憶してタブレット内の画面に書いたり、タブレットを使って「しりとり」をしたりして楽しく脳を活性化してきました。午後からはタブレットのギターやドラムのアプリを使って、童謡「ふるさと」を合奏。楽譜の読める女性がリードし、男性はアプリでの演奏を担当して、演奏の動画を完成させました。



画面に出てきたものを記憶するトレーニング



会話をしながら楽しむ参加者



人吉球磨中体連夏期陸上大会

スパートで後続を振り切った森川選手

森川選手、共通男子3,000メートルV 13人が県大会出場を決める

平成27年度人吉球磨夏期陸上大会は6月14日と20日に多良木町総合グラウンドで開かれ、管内の中学生が男子18種目、女子15種目で競い合い、湯前中学校は共通男子3,000メートルを制した森川勝己選手(同校3年下村)ら13人が県大会への切符をつかみました。

13日は雨が降る悪条件での開催。雨に負けじと湯前中の選手は全力でグラウンドを駆け抜けていきました。中でも共通男子3,000メートルを制した森川選手と共通女子1,500メートルを制した栗原泉選手(同2年上染田)はレース終盤にスパートをかけ、ほかの選手を寄せ付けない圧倒的な走りをみせました。今大会で標準記録を突破した13人と他大会で標準記録を突破した選手が7月18・19日に開かれる県大会に出場できます。

※7月1日時点で14人が出場決定



2年生ながら共通1500メートルを制した栗原選手

競技結果

〔男子〕	
共通800メートル	2分10秒05
② 福田 慎之介	2分11秒05
③ 山崎 隼汰	2分11秒05
3年1500メートル	4分41秒02
④ 古市 雅	4分41秒02
共通3000メートル	9分38秒03
① 森川 勝己	9分38秒03
④ 大山 亮仁	9分59秒09
共通4000メートルリレー	49秒04
⑤ 湯前中 (永池純青・福田慎之介 古市雅・山崎隼汰)	49秒04
〔女子〕	
2年800メートル	2分34秒08
① 浜崎 郁乃	2分34秒08
3年800メートル	2分31秒06
③ 橋本 桜	2分31秒06
共通1500メートル	5分04秒08
① 栗原 泉	5分04秒08
③ 多田 華歌	5分16秒09



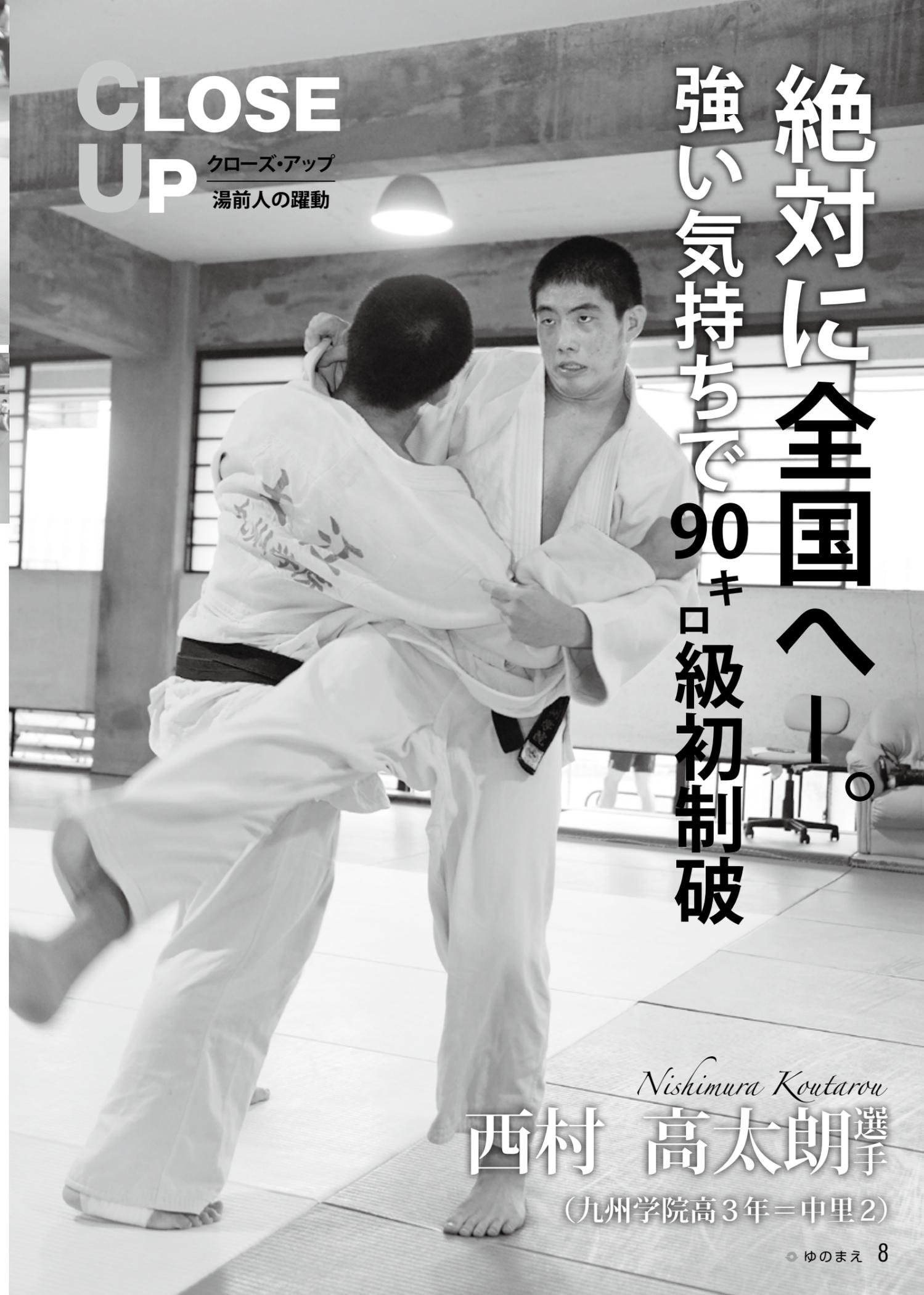
2年生800メートルVの浜崎選手



CLOSE UP

クローズ・アップ
湯前人の躍動

絶対に全国へ。 強い気持ちで90キログ級初制破



悲願の個人戦初制覇

西村選手は5月31日に山鹿市総合体育館で開かれた県高等学校総合体育大会柔道競技男子90キログ級(18人出場)で悲願の初優勝を果たし、インターハイへの切符をつかみました。「1回戦から体の動きが良く、『いける』と思った」。勝ち進み準決勝で対戦した寺田克己選手(秀学館高)は優勝候補の一角。「開始早々から自分の柔道ができた」。手強い相手にも袈裟固めで勝利。勢いそのままに優勝しました。

悔しかった前へ

個人戦前日の団体戦。決勝戦は春の大会で敗れた鎮西高校との対戦でした。先鋒を任された西村選手。「勝ってチームに勢いをつけたかった。前半は自分のペースだったが、一瞬の気のゆるみで敗れてしまった」。先行を許した九学は大将戦で一矢報いるも1対2で惜しくも敗戦。「本当に悔しかった。全国へ行くには個人戦で優勝するしかない。『絶対に全国に行く』という強い気持ちで個人戦に挑んだ」。西村選手の瞳は前

を向いていました。

「普段は仲の良いチームだけど、一度練習が始まるとみんながライバル。全員が『誰にも負けない』気持ちを持っている」。平日の練習時間は午後4時半〜8時。「長い時間でも一つ一つの練習を大切にしている。一瞬の油断が負けにつながる。試合前も準備をしっかりして気持ちを切らさないようにしている」。西村選手は意識を高く持ち、心と体を鍛えています。

目標は全国ベスト4以上

個人としては初めての出場になるインターハイ。石橋金治監督(60)は「すごい身体能力を持っている選手。主将としての大きな重圧を乗り越えて精神的にも強くなった。勝負の力は『気持ち』。心と体が組み合わされば良い結果が見えてくるはず」と話しました。西村選手は「とてもワクワクしている。目標は全国ベスト4以上。インターハイでも自分の柔道ができるように強い気持ちを持って挑みたい」と目標を話してくれました。

平成27年度全国高校体育大会
柔道競技男子90キログ級は…

8月10日(月)
奈良県天理市
天理大学そまのうち之内第一体育館



- Profile -

にしむら こうたろう
1997年4月27日生まれ。身長184センチ・体重90キログ。小学1年生のときに柔道始める。湯前中学校卒業後、柔道の名門九州学院高校へ進学。1年生の秋からレギュラーメンバーとして活躍。去年は団体戦で全国大会に出場。現在、同柔道部の主将としてチームを引っ張る。

Nishimura Koutarou
西村 高太郎選手
(九州学院高3年=中里2)

須賀柚葉さん(湯前小5年)が3年連続で学校代表

湯前小校内童話発表会

湯前小学校の平成27年度校内童話発表会が6月19日、同校体育館で開かれ、各学年の代表6人が童話を発表。審査の結果、5年生の須賀柚葉さんが3年連続で学校代表に選ばれました。

童話発表会は児童が読書に親しむことを目的に毎年開かれています。予選を勝ち抜いた各学年の代表6人がステージに立ち、全児童と保護者らが見守る中、発表をしました。1～2年生は5分以内、3～6年生は7分以内で発表し、教師が話し方や姿勢、内容を理解しているかなどを審査しました。

須賀さんは昨年、人吉球磨の童話発表会で最優秀賞を受賞し、県大会に出場しています。強弱や間の空け方を工夫し、やさしい口調で「きみがおしえてくれた※今西乃子(著)」を発表。見事3年連続で学校代表に選ばれました。須賀さんは7月19日に人吉市カルチャーパレスで開かれる人吉球磨童話発表会に出場します。



会場を引き込む発表で学校代表になった須賀さん

合同授業やレクリエーションで交流深める

湯前中・西米良中交歓会

第58回湯前中学校と宮崎県西米良中学校の交歓会が6月5日、西米良中で開かれ、湯前中2年生の26人と西米良中の生徒27人は合同授業やレクリエーションで交流を深めました。

交歓会は県境で隣り合う2町村の交流を深めるために昭和31年から始まり、毎年会場を交互に移して開催されています。

対面式ではお互いの学校を紹介。昨年から取り入れた合同授業では、両校の生徒が一緒になって音楽と体育の授業を受けました。音楽ではグループごとに輪を作り、声を合わせて合唱しました。体育の授業ではサッカーをし、パスを出したりドリブルで勝負を挑んだりして、どちらの生徒も笑顔で競っていました。

昼休みは西米良中の各学年に湯前中の生徒が分かれて入り、会話をしながら給食をおいしく食べていました。午後は西米良中の生徒が考えた「じゃんけん列車」や「大縄跳び」などのレクリエーションで交流を深めました。



楽しく歌う両校の生徒

知識と交流を広げる

民生児童委員3カ町村合同研修会

湯前町・多良木町・水上村の民生児童委員合同研修会が6月19日、ゆのまえ温泉湯楽里で行われ、63人の民生委員・福祉関係者らが認知症や介護保険制度を一緒に学び、交流を深めました。

研修会は民生児童委員同士のスキルアップや交流を深めるために、毎年会場を移しながら開催されています。

湯前町民生児童委員会の丸山羊一会長が「東日本大震災では使命感の強さから民生委員56人が命を落とした。この時期は大雨の災害も心配。一人で支援に行かず、家族の安否、避難経路を確保しながら、地域ぐるみでの支援をしてほしい」とあいさつ。

研修会では上球磨包括支援センターの岩本好美社会福祉士や山浦隆宏介護支援専門員が「認知症について」と「介護保険制度について」をテーマにそれぞれ説明。認知症の研修では、認知症の症状や対応の仕方、予防方法、相談窓口などが紹介されました。岩本さんは「認知症にかかった人のすべてがなくなるのではなく、人としての豊かさやすばらしさは残る。皆さんは認知症を支える人になってほしい」と参加者に話していました。



体や頭を動かしながら学ぶ民生児童委員ら



お互いに「思いやり」

花いっぱい交流事業

町社会福祉協議会と老人クラブ連合会による「花いっぱい交流事業」が6月5日に湯前小学校であり、同校6年生37人と老人クラブ会員36人がペアになって楽しくプランターに花を植えていきました。

取り組みは児童と会員が交流できる機会にしようと毎年開催。ことしは雨のため屋根のある体育館通路で行われました。サルビア、マリーゴールド、ポーチュラカ、マツバボタンなどの4種類、470本の苗が用意され、会員と児童が仲良く苗をプランターに植えていました。会員は花の植え方を児童に優しく教え、児童はプランターを積極的に運ぶなど、お互いに「思いやり」があふれていました。

植えた後はグループに分かれて、ボランティアらが作ったおにぎりや唐揚げなどをおいしそうに食べていました。

福屋渉くん(同校6年=瀬戸口)は「おじいちゃんおばあちゃんとふれあいながら話すことができて楽しかった」と話していました。



色とりどりの花を一緒に植えて運ぶ参加者

ゲートボール女子、2年連続V

郡民体育祭速報第1弾

第65回球磨郡民体育祭ゲートボール競技が5月20日、あさぎり町免田総合体育センターで開かれ、球磨郡8町村が出場。女子の部で湯前町が2年連続の優勝を勝ち取りました。

湯前は4チームによる予選を1位で通過し、決勝トーナメントへ進出。準決勝のあさぎり戦を18対9のスコアで突破すると、山江村との決勝戦でも好調をキープ。21対9のスコアで見事2年連続の優勝を果たしました。

■競技結果

- 優勝 湯前町(豊永豊子、藏坐シズエ、外山榮子、山下和美、福田節子)
- ② 山江村
- ③ 五木村



2年連続の栄光をつかんだ女子

- 決勝 湯前21-9山江村
- 準決勝 湯前18-9あさぎり

連携しながら予防・減災を

防災会議・水防協議会

平成27年度湯前町防災会議と水防協議会は6月1日、湯前町保健センターで開かれ、各機関の代表者43人が防災の対応を確認しました。

防災会議は毎年梅雨入り前に開かれ、町や多良木警察署、上球磨消防署、自衛隊、町消防団などの25団体が参加。昨年度、町は台風の接近などで保健センターに避難所を3回設置しています。鶴田正己会長は「最近、激しい降り方の雨が多くなっている。いざというときの初動、準備をするために今日はたくさん意見を交わしていただきたい」とあいさつしました。担当者がことしの地域防災計画の追加・修正を説明したあと、各機関から災害時の連絡体制や伝達事項などが協議されました。町消防団の土屋登志久団長は「無線の伝達訓練や、一人暮らしの高齢者の安否確認、土のうを作る準備など各分団で連携してやっていく。報告・連絡・相談しながら縦と横のつながりですっかりと予防・減災に努めたい」と説明しました。



予防・減災に努めると話した土屋団長

—湯前町青年団だより—

(団長 瀧森 道太)

がまだすっ! VOL.2



4～6月のわだいを紹介します

Topicks

4/29 おっぱい祭りバザー



5/4 青年団
みこし担ぎ

大きなみこしを元気に「わっしょい!」。他町村の青年団員からも協力がああり、みんなで町内を回りました。沿道に駆け付けてくださった皆さん、ありがとうございました!



5/5 新入団員歓迎会



グループごとに分かれてお弁当を作り、グリーンパレスへ遠足に行きました! B&G体育館ではビーチバレーやドッジボールで白熱。夜はバーベキューで一日中エンジョイしました♪

5/30 山江村との交流会



青年団情報

NEW INFORMATION
YUNOMAE SEINENDAN

①新入団員です、よろしくお祈いします!

そうざ 蔵座 祐平(上里1) おきまつ 沖松 泰豪(下染田) いしい やすひろ 石井 康博(上里3)
みぞした ひるあき 溝下 寛明(野中田2) つちや 土屋 孔史朗(馬場) くどう ゆうじ 工藤 祐二(中里2)

※まだまだ新入団員募集中です!

②たくさんの「いいね!」をお待ちしています!

— Facebook 始めました —



もっと皆さんの人に青年団の活動を知ってもらうために今年度からフェイスブックを始めました。青年団の活動を随時載せていきます! くわしくは「湯前町青年団 フェイスブック」で検索♪

湯前町青年団 フェイスブック 検索

③資金作りへのご協力ありがとうございました!



瀧上 駿 副団長
(21 = 植木)

「今後も地域の活動に積極的に参加をしていきます。突然の訪問にも温かく迎え入れていただき、本当にありがとうございました!」

来年1月から マイナンバー制度が 始まります!



愛称「マイナちゃん」

1 たくさんの分野で情報を管理する制度です

マイナンバー(社会保障・税番号)制度は国民一人ずつに番号をつけ、社会保障や税、災害などの分野で情報を管理するための制度です。いろんな機関にある個人の情報を確認するために使われます。

2 ことし10月から12桁の番号が入った紙製のカードをお配りします

町民の皆さんにはことし10月から12桁の個人番号が書いてある紙製の「通知カード」を郵送します。カードには個人番号、名前、生年月日、住所が書かれています。「個人番号カード」が交付されるまでの個人番号の確認に使われます。紙製のカードが「個人番号カード」の引換券になります。なお、法人には13桁の法人番号がつけられています。

3 番号は平成28年1月から使われます

4 希望する人は「個人番号カード」がもらえます

個人番号カードを希望する人は通知カードと一緒に送られる申請書を郵送して、個人番号カードを受け取ることができます。

個人番号カードは顔写真付きで、表に氏名、住所、生年月日、性別、裏には個人番号が書かれる予定です。このカード1枚で個人番号と本人確認ができ、身分証明書として使うことができます。ICチップがついていて、次のことができます。

- ①電子証明書の機能がついていて、e-Taxなどの電子申請ができる。
 - ②行政機関が自分の情報をいつ、どことやりとりしたのかをパソコンなどで確認することができる。*平成29年1月から開始予定
- *個人番号カードは平成28年1月以降に配られる予定です。



5 住民基本台帳カードはことし12月末まで

住民基本台帳カードと個人番号カード、二つを持つことはできません。住民基本台帳カードを持っている人が個人番号カードを申請したときは、個人番号カードをお渡しするときに、住民基本台帳カードを回収します。

6 お尋ねはコールセンターへ

マイナンバー制度についてのお尋ねはコールセンターまで
平日 午前9時30分～午後5時30分(土日祝日・年末年始を除く)にお問い合わせください。
日本語窓口 0570-20-0178
外国語窓口 0570-20-0291(英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語)
*IP電話などでつながらないときは050-3816-9405まで

ご存じですか?

健康についての悩みや疑問を 相談する場所があります

総合健康相談

場所:湯前町保健センター
毎週月曜日
午前9時~11時30分の間で
お越しください。

保健師が健康についての相談をお聞きします。
健康にかかわることならどんなことでもかまいません。

★血圧測定も行いますので、定期的な血圧管理にもお役立てください。



体のことで悩みはありませんか?……

- ・筋力が落ちてきている
 - ・食欲が落ちている、検診の数値が気になる
 - ・こころの悩み
 - ・予防接種のこと
- ★運動や食事・栄養のことは何でもご相談ください

妊婦さんや産後の
お母さんもお気軽にどうぞ

- ・妊娠中や産後の体調管理
- ・乳幼児の身体計測など



予防接種手帳を持参してください!!

インフルエンザ予防接種と成人用肺炎球菌予防接種の記録ができる手帳です。昨年度から成人用肺炎球菌の予防接種が定期化しました。インフルエンザ予防接種と接種履歴が混乱しないように65歳以上の人へ配布を始めました。インフルエンザ予防接種と成人用肺炎球菌予防接種のときは必ず持参しましょう。



次の人にはすでに
お渡ししています。

- ・平成26年度 インフルエンザ集団予防接種(保健センター)を受けた人
- ・平成26年度 成人用肺炎球菌予防接種の申し込みをした人
- ・平成27年度 成人用肺炎球菌予防接種の申し込みをした人

今後は成人用肺炎球菌予防接種を受ける人に配布していく予定です。
手帳を希望する人は保健センター(TEL0966-43-4112)までお知らせください。
※成人用肺炎球菌予防接種は年度ごとに対象になる人が違います。対象者にはそれぞれ通知をしています。
湯前町保健センター 保健師 横矢 和美

戸籍の窓

平成27年5月1日~平成27年5月31日届出分

ご結婚おめでとう

氏名	地区名
黒木 俊次	(馬場)
桑原 由佳	(錦町)
平川 統大	(あさぎり町)
上米良 侑紀	(中里2)
鶴田 拓也	(植木)
野村 唯	(愛知県)
石井 幸夫	(馬場)
宮田 美保	(鹿児島県)
養田 勝吾	(上村)
日高 実穂	(宮崎県)

たんじょうおめでとう(うぶごえ)

氏名	保護者	地区名	氏名	保護者	地区名
やまもと 山本 莉緒	りお 浩	(下染田)	いのうえ 井上 叶	かなう 聖	(上里2)

ご冥福をお祈りします

氏名	地区名
上田 仙一	(下村)
塩塚 信義	(瀬戸口)
溝下 フミ子	(野中田2)
田山 安男	(野中田3)
恒川 三男	(中猪)
右田 三代吉	(田上)
武藤 和彦	(植木)

香典返し

氏名	地区名
地下 シヅ子	(浅鹿野)
岩野 邦治	(瀬戸口)
溝下 昌美	(野中田2)
上田 嘉昭	(下村)
桑原 幸博	(下村)
田山 サチ	(野中田3)
恒川 ハシ子	(中猪)
武藤 治枝	(植木)

新刊が入りました!

中央公民館図書室

○平日8:30~17:00 ○土日・祭日9:30~17:00
※貸出期間は2週間、ひとり5冊まで。
(お問い合わせ)中央公民館(Tel 0966-43-2050)



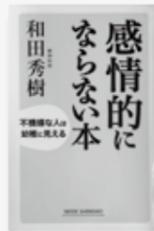
もしも月がなかったら
一ありえたかもしれない地球への10の旅
東京書籍、ニール・F. カミンス(著)
増田まもる(翻訳)

もしも月がなかったら?…月のない地球は、自転速度が地球よりずっと速く、1日は8時間となる。強風が絶えず荒れ狂い、高山も存在せず、生命の進化も遅い。さまざまな「ありえたかもしれない地球」への旅をたどるシミュレーション・ロマン。



巡り学ぶ相良700年の時間旅行。
人吉球磨検定
公式テキストブック
(株)マインド

国宝青井阿蘇神社の青井の意味は?相良藩が「内福」だった理由は?球磨焼酎28人衆が語る根性?猫寺と呼ばれるお寺は?なぜ、人気がある相良33観音巡り?読めば読むほど人吉球磨の魅力に惹きつけられる一冊。



感情的にならない本
ワイド新書
和田秀樹(著)

他人の気持ちは変えられない、と割り切る。理屈は正しくても、なぜいい結果にならないか、感情的に反応する人は、放っておくしかない。「自分だって」といわれると、なぜ腹が立つか、根本的な解決などできないし、目指さなくていい(他)、自分にも他人にも機嫌のいい人になる、感情コンディションを整える方法!



出版禁止
新潮社、長江俊和(著)

なぜ「心中事件」のルポは、闇に葬られたのか—あの「放送禁止」の監督は、小説書いても、凄かった! 題材は、ある「心中事件」。死ぬことができなかった女性へのインタビューを中心に構成されたルポ「カミュの刺客」は、なぜ封印されたのか? 熱狂的中毒者続出の「放送禁止」の生みの親、長江俊和が放つ、繊細かつ大胆なミステリー。



かないくん
東京糸井重里事務所
谷川俊太郎(著)
松本大洋(イラスト)
糸井重里(監修)

ある日、ともだちのかないくんが学校を休んだ。かないくんは親友じゃない。ふつうのともだち。日常に訪れた、はじめての「死」。死ぬって、ただここにいなくなるだけのこと? 年齢を問わず、時代を問わず、場所を問わず、長く読み続けられてほしい一冊。

6月のごみ情報

5月末日人口 4,176人

	先月分	今月分	昨年の5月分
燃えるごみ(kg)	65,150	48,120	72,460
燃えないごみ(kg)	3,800	2,670	4,740
粗大ごみ(kg)	560	0	0
リサイクル品(kg)	18,350	16,670	18,890
有害ごみ(kg)	40	30	0
減らしたごみ(kg)	-24,340	-2,070	-2,220

一人一人の意識が、ごみを変えていきます。
ご協力をお願いします。

☆お世話になりました!

6月1日(月)に不法投棄防止
合同パトロールを行いました。

人吉保健所・人吉球磨行政組合・
(株)谷川・肥後環境・不法投棄防止
パトロールボランティア・町役場



※7月の不燃物収集は

1水と15水です。(第1・第3水曜日)
7月20日(月)祭日は、ハッピーマンデーで
通常どおり収集します。

お買い物には“マイバック”を!!

人吉球磨地域では、地球温暖化の防止と循環型社会をつくるために、身近にできる「レジ袋削減」への取り組みを広がっています。行政や協力事業者、住民(消費者)が協力して平成24年7月1日からレジ袋の有料化(無料配布中止)を行っています。

- レジ袋を削減すると……
- 無駄に捨てられるごみの量を減らすことができます。
 - 石油の消費を減らすことにつながります。
 - レジ袋をつくる時に排出する二酸化炭素を減らすことができます。
- ※協力店(6事業所)でのレジ袋売上金は、環境保全のための活動に使われます。
ぜひお買い物には、マイバックを持参しましょう。
町民の皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いします。



石器に興味深そうに見つめる児童たち



講師と一緒に楽しく勾玉作り



縄文・弥生時代の土器を説明する講師



磨いて水で洗うときれいな勾玉の完成

先人の知恵に 児童驚く

湯前小6年が古代の歴史を学習

「地域の文化財を活用したふるさと学習会」が5月25日に湯前小学校であり、6年生39人が縄文時代と弥生時代の土器や石器を見たり、勾玉作りをしたりして、古代の歴史を学びました。

県内では埋蔵文化財の博物館は山鹿市の「装飾古墳館」だけ。学習会は県南の子どもたちにも、埋蔵文化財や先人の知恵に触れてもらおうと県教育委員会が主催しています。

県教育庁文化課の馬場正弘参事と装飾古墳館の伊豫法彦主事を講師に授業がスタート。児童は湯前に縄文時代9力所、弥生時代2力所の遺跡があることや権力のある人だけが勾玉を身につけていたなどの知識を学びました。

教室にはあさぎり町須恵の沖松遺跡(縄文時代)や錦町木上の夏目遺跡(弥生時代)で発掘された本物の土器や石包丁などの石器が展示されていて、児童は興味深そうに見たり触れたりしていました。

勾玉作りでは児童がやわらかい石(滑石)に鉛筆で形を描き、一生懸命紙やすりで削ってきれいな勾玉を作っていました。

参加した安藤朔菜さん(下里)は「きれいな勾玉ができた。紙やすりでも大変だったのに、紙やすりが無かった時代ではとても苦労して作っていたんだと驚いた」と話していました。

編集あとがき

▼久しぶりに取材で写真を撮ったときのこと。ピントや明るさの調節がうまくできず、イメージな写真ばかり。日を空けると調子が狂うのは写真も同じみたいです。写真がうまい人が言うには「仕事以外で一日5枚、写真を撮り続けるとうまくなる」とのこと。興味がある人はぜひ挑戦してみてください。

▼湯前小のどろんこ遊びを取材しました。ことしは半袖半ズボンにサンダル、傘やタオルも持参して準備万端。のはずでした。開始直前に降り出す雨。壊れる傘、田んぼに落ちて行方不明のタオル。容赦なくつつこんでくる子どもたち。(笑)。体で必死にカメラを守りながら撮影しました。

▼梅雨もそろそろ折り返しでしょうか。ある晴れた日、撮影に出かけると、「狐の嫁入り」が…。カメラを構えた瞬間に雨が降ってきました。すさまじい「雨男」ぶりに周りも私も苦笑いでした。

雨に好かれる広報担当(笑)



ご意見・投稿はこちらから